

ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

第30回オールジャパンレディスボウリングトーナメント L オプショナルツアーのご案内



オールジャパンレディスボウリングトーナメントでは、女性ボウラーの「大会でこんなことできたらいいな…」というご要望を積極的に採り入れて、楽しい大会を目指しています。

中でも大人気なのが、**オプショナルツアー!**

開催ご当地の名所やグルメスポットを巡るバスツアーで、大会に集まったボウラー同士の親睦を深めてください。

ご友人、ご家族の参加も大歓迎です!!

今回は…嵯峨トロッコ列車と嵐山散策ツアー オプションで保津川下りも!

2017年6月3日(土) 12:50 しょうざんボウル出発

- レトロなトロッコ列車から保津峡の景色を堪能 ●
- 大人気の保津川下りも楽しめます(要オプション申込) ●
- 京の魅力が集まる嵐山散策&名物彩り湯豆腐ディナー ●

20:00頃 しょうざんボウル着(四条烏丸駅・京都駅・幹旋ホテル経由)



※ツアーの内容は予告なく変更となる場合があります。※写真はイメージです。

参加費：おひとり5,000円 ※保津川下りオプションは+3,000円(税込)

費用に含まれるもの：バス・電車代金、乗船料、夕食代、保険料ほか

大会エントリーと一緒に申し込みください。選手以外の方(ご家族・ご友人)のご参加も大歓迎です!
※先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。大会当日のお申込はお受けできませんのでご了承下さい。

【お問い合わせ先】(一社)京都府ボウリング連盟 TEL075-681-1180



公益財団法人 全日本ボウリング協会

<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

嵐山・嵯峨野を散策しよう

広大な散策・観光エリアを持つ嵐山・嵯峨野。

1日ではとても回りきれない程に名所旧跡が揃っています。

さあ、今日はどこを巡りますか？



嵯峨野トロッコ列車 Sagano romantic train



保津川下りで知られる保津峡を縫って走る嵯峨野トロッコ列車。春は桜、夏は緑、秋は紅葉と四季折々の景色を車窓から楽しむことができます。トロッコ列車のルートは、廃線になった JR 山陰線の線路を使っています。JR 嵯峨嵐山駅に隣接するトロッコ嵯峨駅からトロッコ亀岡駅まで約 7 キロメートル、時間にして 30 分の旅となります。2011 年、嵯峨野トロッコ列車開業 20 周年を記念し、トロッコ嵯峨駅内に「ジオラマ・京都・ジャパン」がオープンしました。京都の街並み、

有名な寺院などが忠実に再現され、その中を鉄道模型が走ります。鉄道模型は操作することも可能で、ブルートレインの運転台からマスコンを使った本格的な操作をすることができます（有料）。

保津川下り Hozu-gawa river boat ride



1606 年(慶長 11 年)京都の豪商・角倉了以(すみのくさりょうい) が、丹波から京へ木材・薪炭などを運搬する運河として開削した保津川。その保津川を亀岡から京都・嵐山までの約 16km、渓谷を約 2 時間かけて下るスリルあふれる川下りを楽しめます。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と四季折々の渓谷美を楽しめ、冬期はお座敷暖房船にて運行されます。かの夏目漱石も保津川下りを楽しんだそうです。

天龍寺 tenryuji temple



臨済宗天龍寺派の総本山。釈迦如来を本尊とし 1339 年(延元 4)に足利尊氏が後醍醐天皇の菩提を弔うために建立した、京都五山第 1 位の寺で、ユネスコ世界文化遺産にも登録されている。創建時は 150 余の塔頭を数え、広大な敷地を誇ったが、8 回の大火に遭い創建当時の建物はことごとく焼失した。現在の諸堂は明治時代に再建されたものになる。曹源池を中心に嵐山や亀山を借景とする池泉回遊式の庭園(史跡・特別名勝)は、開山の夢窓疎石の作。3 段の石滝組などを配し、南北朝

時代の禅院を代表する庭園である。

嵯峨野の竹林 bamboo forest



嵐山・嵯峨野そして京都を代表する風景の一つ、嵯峨野の竹林。天龍寺から野宮神社、そして大河内山荘に至る数百メートルの道がそう呼ばれています。竹穂垣がある青々と茂る竹林は日中でも日差しが届かず、さながら竹のトンネルのようで夏もひんやりした空気が流れています。12月の花灯路では一風違った雰囲気竹林を楽しめます。CMでも度々登場し、京都を舞台とするドラマなどでも目にします。

渡月橋 togetsukyo brige



天下の名勝、嵐山のシンボリック存在の渡月橋。その歴史は古く、平安時代（承和3年（836年））に弘法大師・空海の弟子 道昌が架橋したものとされています。その後、応仁の乱で消失し、何度か架け替えを経て、戦国時代の豪商・角倉了以が現在の位置に橋を架けたとされています。現在の姿の渡月橋は昭和9年（1934年）に完成したものです。一見木製に見える部分は欄干のみで、橋脚と橋桁は鉄筋コンクリート製となっています。ちなみに渡月橋の由来は、鎌倉時代の亀山上皇が曇りの

ない夜空に月がさながら橋を渡るようなさまをみて「くまなき月の渡るに似る」と感想を述べられたことから渡月橋と呼ばれるようになったとされています。この渡月橋を境に川の名前が変わり、下流は桂川、上流は大堰川となります。大堰川はさらに遡れば保津川と名前が変わります。ですが、行政上では桂川で統一されています。また、渡月橋では橋の上流に設置されているミニ水力発電設備により、夜間のライトアップがされています。ライトアップとは言いますが、LED電球によるほのかな明かりで、足元をやわらかく照らしてくれています。

宝篋院 Houkyouin Temple



散りもみじが有名な臨済宗の寺院です。足利二代將軍・義詮の菩提寺でしたが、のちに寺名を義詮の院号である宝篋院に改めました。応仁の乱以降は衰退し幕末には廃寺となり墓所も不明となっていました。明治中期～大正期に楠木正行の遺跡保護のため再興されました。

大河内山荘 Okouchi villa



昭和の映画俳優、大河内傳次郎の別荘地であり、当時長期保存が難しかったフィルムに対し永く消えることのない美を追究するため自身で設計しこの庭の造営を始めた。映画出演料の大半を注ぎ込み 64 歳で亡くなるまで 30 年の歳月をかけてこつこつと作り上げたものである。回遊式の庭園で、嵐山、保津峡のみならず遠く比叡山までもを借景としたその造りは見事の一言で、近年国の文化財としても登録されている。

野宮神社 Nonomiya shrine



野宮神社は天皇の代理で伊勢神宮へお仕えする皇女・斎王が身を清める聖地されていたところです。斎王が身を清める様子は源氏物語の賢木の巻に記されており、源氏物語の舞台でもある神社です。現在は縁結びの神様として、若い女性の参拝が絶えません。また、鳥居はクヌギの木の皮を剥がないまま使われている、日本でも最古の形式とされている。

亀山公園 Kameyama park



渡月橋から川を上流へ 5 分ほど歩けば亀山公園の入口が見えます。小さな山全体が公園とされており、角倉了以像や、周恩来「雨中嵐山」詩碑などが点在しています。園内の展望台からは保津峡やトロッコ列車などの風景が見えることができます。